

大学コンソーシアム富山 平成26年度単位互換開講科目「とやま地域学」実施報告
(開講:富山国際大学)

概要	<p>昨年は富山県が石川県から分県して130年目を迎えましたが、平成26年度末の3月には、いよいよ北陸新幹線が富山に開通する予定です。 富山県は、豊かな自然環境に育まれた米を中心とした農業や昭和期以降では水力発電による安価な電力の供給により北陸有数の産業県として発展を遂げてきました。 また、2011年11月には、伏木富山港が環日本海交流、環境保全の拠点として、北東アジアの発展に重大な役割を持つこととなりました。富山の歴史・文化、富山湾、立山連峰に代表される自然環境、そしてものづくりをはじめとする産業など、データや現地研修を通して「とやま」を知ること、そしてこれからの富山や世界の姿を展望します。</p>		
科目	とやま地域学(集中講義)	実施校・担当教員(所属)	富山国際大学・尾畑納子(現代社会学部)
単位数	前期・2単位	実施期間	平成26年9月2日～9月5日(講義・県内研修)

実施日	時間	時間割	講義内容	講師	場所	
9月2日 (火)	【1日目】歴史から見る富山の文化、産業					富山県 教育文化 会館
	9:00～10:30	第1回	立山信仰にみる越中人のこころ	富山国際大学 現代社会学部 非常勤講師 米原 寛 氏		
	10:40～12:10	第2回	近世富山(越中)の歴史と文化	富山国際大学 現代社会学部 非常勤講師 米原 寛 氏		
	13:00～14:30	第3回	近代の富山と産業 (売薬と電気事業を中心として)	富山国際大学 現代社会学部 非常勤講師 米原 寛 氏		
	14:40～16:10	第4回	富山の文学～ 近現代文学(散文)を中心として	射水市大島絵本館長 立野 幸雄 氏		
9月3日 (水)	【2日目】富山の自然－災害					富山県 教育文化 会館
	9:00～10:30	第5回	富山の自然－災害: とくに地震災害について	富山大学 大学院理工学研究部 教授 竹内 章 氏		
	10:40～12:10	第6回	富山の自然と観光 (人が輝く元気とやまの創造)	富山県知事 石井 隆一 氏		
	13:00～14:30	第7回	雄大な富山湾 「カメラから見る富山湾」	大田潜水事務所 水中カメラマン 大田 希生 氏		
	14:40～16:10	第8回	地理的視点からみた 富山の自然と観光	富山国際大学 現代社会学部 准教授 助重 雄久 氏		
9月4日 (木)	【3日目】現代の富山から未来を展望する					富山県 教育文化 会館
	9:00～10:30	第9回	データから見る 富山の暮らしⅠ	富山国際大学 現代社会学部 非常勤講師 浜松 誠二 氏		
	10:40～12:10	第10回	データから見る 富山の暮らしⅡ	富山国際大学 現代社会学部 非常勤講師 浜松 誠二 氏		
	13:00～14:30	第11回	データから見る 富山の暮らしⅢ	富山国際大学 現代社会学部 非常勤講師 浜松 誠二 氏		
	14:40～16:10	第12回	コンパクトシティ戦略による 富山型都市経営の構築 ～公共交通を軸としたコンパクト なまちづくり～	富山市長 森 雅志 氏		
9月5日 (金)	【4日目】富山県内でのフィールドワーク					富山県内 および富 山県教育 文化会館
	8:50～16:20	第13回	講義を踏まえた関連場所 (富山駅北～岩瀬の町並み他、 県内の施設見学)	富山国際大学 現代社会学部 教授 尾畑 納子 氏		
		第14回				
		第15回				

受講者	計99名: 富山大学(3名)・富山県立大学(5名)・高岡法科大学(1名)・富山国際大学(48名)・富山高等専門学校(42名)
-----	---

【1日目】歴史から見る富山の文化、産業



受付風景



オリエンテーション



近世富山(越中)の歴史と文化



富山の文学～近現代文学(散文)を中心として

【2日目】富山の自然－災害



富山の自然－災害：
とくに地震災害について



富山の自然と観光
(人が輝く元気とやまの創造)



雄大な富山湾
「カメラから見る富山湾」



地理的視点からみた
富山の自然と観光

【3日目】 現代の富山から未来を展望する



データから見る 富山の暮らし I～III



コンパクトシティ戦略による富山型都市経営の構築
～公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり～

【4日目】 富山県内でのフィールドワーク



< 講義を踏まえた関連場所 >

富山駅北散策～環水公園にてエコボート乗車体験～
岩瀬の町並み～北前船廻船問屋森家、杣田酒造見学～梅かま工場見学など

大学コンソーシアム富山 平成26年度単位互換科目「災害救援ボランティア論」実施報告
(開講: 富山大学)

目的	「わが身わが命は自分で守る」というボランティアの基本精神を発揮して、助け合いを大切にしながら、いざという時には率先して自らがその場においてリーダーとなり、まわりの人に呼びかけて一人でも多くの人を救い、被害を最小限度に食い止める活動を行うために、富山県との共同研究の成果を加えた特色のある災害救援ボランティアについて考える。		
科目	災害救援ボランティア論 (集中講義)	実施校・担当教員(所属)	富山大学・奥寺 敬(医学部医学科)
単位数	後期・2単位	実施期間	平成27年2月 19日・20日・23日・27日 (講義・実習・施設見学)

実施日	時間	限	講義内容	講師	場所
平成27年 2月19日(木)	8:45~10:15	1	災害救援ボランティアと危機管理医学	奥寺 敬 (大学院医学薬学研究部教授)	富山大学 黒田講堂 会議室
	10:30~12:00	2	災害ボランティア活動の基本	澤野 次郎(災害救援ボランティア推進委員会委員長)	
	13:00~14:30	3	富山県の防災対策	寺井 健雄(富山県防災・危機管理課国民保護・地域防災班長)	
	14:45~16:15	4	トレーニング 倒れている人をどう救うか	布村 忠弘 (人間発達科学部教授)	
平成27年 2月20日(金)	8:45~10:15	1	災害事例	宮崎 賢哉 (災害救援ボランティア推進委員会委員)	富山大学 黒田講堂 会議室
	10:30~12:00	2	災害ボランティア活動の実際		
	13:00~14:30	3	地形図から災害を予測する	大西 宏治 (人文学部准教授)	
	14:45~16:15	4	防災机上訓練DIG 洪水ハザードマップの活用		
平成27年 2月23日(月)	8:45~10:15	1	都市における減災対策	梶座 圭太郎 (人間発達科学部教授)	富山大学 黒田講堂 会議室
	10:30~12:00	2			
	13:00~17:00	3・4	普通救命講習(AED含む) (4時間コース)	富山市消防局	
平成27年 2月27日(金)	8:45~10:15	1	施設見学・災害体験	富山県広域消防防災センター 四季防災館	富山県広域消防 防災センター 四季防災館
	10:30~12:00	2			
	13:00~14:30	3	災害時の医療救援活動	若杉 雅浩 (大学院医学薬学研究部講師)	富山大学 黒田講堂 会議室

受講者	計37名: 富山大学(30名)・富山県立大学(4名)・高岡法科大学(2名)・富山福祉短期大学(1名)
内容	災害救援ボランティア育成のカリキュラムをコアに、富山県の災害と防災対策、富山大学の研究者による独自の研究内容などを加えて、地域防災においてリーダーシップを発揮できる人材となるための学習を提供した。講義は、本学教員、災害救援ボランティア推進委員会及び富山県内の各部門の専門家を招いて、オムニバス形式で実施した。

■ 講義風景



■ 実習風景



■ 施設見学

